

EV SIDE by SIDE復活プロジェクト——「君たちの笑顔が見たい」

Project Report 第1回 「バッテリーケース設計中」

設計図とにらめっこすること、はや2週間。現在、バッテリーケースの設計図を作成しています。

作ろうとしているケースは、およそ全長840mm×全幅300mm×全高370mmというディメンションで、3mm厚のアルミ板を曲げて作ります。

同時に、バッテリー台（バッテリーを載せる台）も作る予定です。こちらは3mm厚の鉄板で、軽量孔をあけて軽くします。

今、いちばん苦労している点は、バッテリーの実物が埼玉県新座市の”ベッチーガレージ”にあるので、思い立ったときにすぐに寸法が測れないことです。

そこで、以前（4/24、5/20、7/8）測定した寸法と、そのときに撮影した写真を参考に設計しています。

ところが、SIDE by SIDEのフレームと干渉してしまい、前後の隙間が8mmくらいしかない。その点を考慮に入れ、しっかり設計しなくてはならないのでとても大変です。

また、電池の端子にケーブルをつなぐためのサービスホールをどこにつけるか、ボディと干渉しないようにするには、これまたギリギリの寸法なので、神経をつかいます。

設計を今月中に終えて、中野区にある野方電機工業さんに図面を持ち込み、製作をお願いする予定です。そして、このバッテリーケースが完成したら、早速お盆にでもSIDE by SIDEに載せようと思います。蚊取り線香とクールダウンのためのアイスノンは必携です。

なお、バッテリーケースの搭載は、おじゃましている新座市の”ベッチーガレージ”で行います。この復活プロジェクトに携わるスタッフたちと一緒に、ケースが無事にSIDE by SIDEに搭載されるのを見届けようと思います。

8月末にはきっと配線が終わり、モーターが回ることを全員で祈っています。

2019年7月26日

日本EVクラブ
代表 館内端

